

## 2024年11月2-3日 9-10日「京都モダン建築祭」エリアを拡大して開催 ～サポーター&パートナーを募集、サポートスタッフも募集開始～

京都モダン建築祭実行委員会および京都市では、京都に現存する魅力的なモダン建築を一斉公開する「京都モダン建築祭」を、11月に開催します。

京都モダン建築祭実行委員会と京都市の共催により、文化庁京都移転記念事業として2022年にスタートしたもので、建築一斉公開イベントでは全国でも珍しい有料パスポート方式を初めて導入し、パスポート公開とガイドツアーを主なプログラムとして実施。会期中、モダン建築に関するさまざまな催しが京都市内各所で一斉に行われます。

2024年は、エリアを拡大し、東山と御所東・吉田を新たに加えて開催。専門家や建築オーナーや関係者によるガイドツアーも充実させ、さらなる参加機会の拡充とプログラムの多様化を進めます。また、資金調達の一助として、サポーター（個人寄付）とパートナー（企業・団体協賛）を広く募集。サポートスタッフの募集も開始いたします。

### 今年のポイント・主な変更点

- ◆新たに、東山、御所東・吉田へエリア拡大、計10エリアに
- ◆パスポート公開は、週末(土日)2日×2回 計4日間に
- ◆エリアごとのまとまりでパスポート公開、より周遊しやすく
- ◆初の試みとなる夜間パスポート公開を試験的に実施
- ◆朝ツアー・夜ツアーなど、時間分散の取り組みも
- ◆番組小学校、大学建築、花街建築、琵琶湖疏水...京都の近代化を象徴する建築群も
- ◆30分のミニツアーから食事付きツアーまで、ガイドツアーがより多様に
- ◆トークイベント、ガイドツアー、ブックフェア等の多彩な催し
- ◆ふるさと納税返礼品として、建築祭パスポートやツアーも
- ◆個人サポーター&企業・団体パートナーの寄付・協賛を呼びかけ
- ◆サポートスタッフ募集を開始
- ◆大学・教育機関との連携を強化
- ◆モダン建築を次世代へ。29歳以下向け「U29パスポート」を今年も継続

## 1. 2024年京都モダン建築祭の開催について

### (1) 日程

一斉公開 計4日

【前期】11月2日(土)～3日(日祝)

公開エリア: 中京、東山★、河原町・五条、京都駅・七条

【後期】11月9日(土)～10日(日)

公開エリア: 北大路、衣笠・北野、西陣、御所西、御所東・吉田★、岡崎、  
(★は新規)

開催期間 2024年11月1日(金)～10日(日)10日間

※11月1日(金)および4日(月休)～11月8日(金)の期間はガイドツアーや各種企画を実施予定

※各建築により公開日時等が異なります。詳細は9月初旬迄に公式サイトで公表予定

### (2) 開催エリア(予定)

継続: 北大路、衣笠・北野、西陣、御所西、岡崎、中京、河原町・五条、  
京都駅・七条、その他

新規: 御所東・吉田、東山

### (3) 主催者等

主催 京都モダン建築祭実行委員会

共催 京都市

パートナー Kyoto Localized、株式会社Clew、株式会社灰孝本店、コミュニティ・バンク  
京信、一般財団法人NISSHA財団、京都美術工芸大学、株式会社八清、株式  
会社フラットエージェンシー、株式会社Luup(2024.7.1時点)

協力 京都市交通局、京都市上下水道局、公益財団法人京都市スポーツ協会、  
京都岡崎魅力づくり推進協議会、京の三条まちづくり協議会、学校法人  
平安女学院、京都駅ビル開発株式会社、株式会社あめりか屋、株式会社  
熊倉工務店、株式会社JR西日本コミュニケーションズ(2024.7.1時点)

※ 本事業は令和6年度文化庁文化芸術振興費補助金(地域文化財総合活用推進事業)の  
補助を受けて実施しています。

※本事業は京都市「Arts Aid KYOTO事業認定型」認定事業です。

### (4) 参加方法

2024年9月初旬から発売予定のパスポート(価格調整中)を購入の上、ご参加いただき  
ます。 ※ 詳細は、適宜公式サイトで御確認ください。

### (5) 今後の予定

2024年8月上旬 参加建築・公開情報・ガイドツアーの概要をリリース

2024年9月初旬 プログラム詳細をリリース

パスポート発売開始

ガイドツアー抽選受付開始

## 2. サポーター(個人寄付)&パートナー(企業・団体協賛)の募集について

資金調達のため、寄付・協賛を募集します。個人の方(サポーター)からのご寄付は3,000円から、企業・団体(パートナー)からのご協賛は100,000円から受け付けております。皆さまの応援と温かいご支援を心よりお願い申し上げます。

公式サイトNEWS「2024年京都モダン建築祭 寄付協賛(個人、企業・団体)のお願い」について  
<https://kyoto.kenchikusai.jp/admin/news/?p=1081>

## 3. サポートスタッフの募集開始について

京都モダン建築祭と一緒に作りあげ、共に建築を愛する仲間として建築祭の運営をサポートいただけるサポートスタッフ(ボランティアスタッフ)の募集を始めます。明るく、人と接することが好きな方のご応募をお待ちしています。

公式サイトNEWS「サポートスタッフ募集 / 会場運営・ツアー など」について  
<https://kyoto.kenchikusai.jp/admin/news/?p=1073>

3年目を迎える京都モダン建築祭。皆様にお楽しみいただけるよう、情報公開の準備を進めております。ぜひ一緒に盛り上げていただきたく、各所からのメディア掲載、取材をお待ちしております。お気軽にご連絡くださいませ。

---

### ■お問合せ・取材連絡先

京都モダン建築祭実行委員会 事務局(藤井・谷口・岡元)  
〒602-0876 京都市上京区錦砂町285 毎日新聞京都ビル2階  
e-mail [contact@kenchikusai.jp](mailto:contact@kenchikusai.jp)

公式サイト <https://kyoto.kenchikusai.jp/>  
X/Twitter <https://twitter.com/kenchikusai>  
Instagram <https://www.instagram.com/kenchikusai/>

---

### 【参考1】京都モダン建築祭実行委員会について

実行委員長  
笠原一人(京都工芸繊維大学 准教授)

#### 委員

以倉敬之(まいまい京都 代表)  
猿渡毅(京都市文化市民局文化芸術都市推進室 文化財担当部長)  
倉方俊輔(大阪公立大学 教授)  
前田尚武(京都市京セラ美術館 企画推進ディレクター)  
南隆博(公益社団法人京都市観光協会 担当部長)

## 監事

飯尾貴之(京都市産業観光局観光MICE推進室 観光誘客誘致課長)

高田光治(一般財団法人京都ユースホステル協会 専務理事)

## アドバイザー

石川祐一(京都市文化市民局文化芸術都市推進室 文化財保護課)

## 事務局

まいまい京都

### 【参考2】「京都モダン建築祭」とは(主旨・特徴など)

#### 京都市の記憶を物語るモダン建築を一斉公開

近代以降、戦争や震災の被害が少なかった京都には、モダン建築が数多く現存しています。ですが、これまで京都といえば神社仏閣や桜、紅葉、というイメージが根強く、近代の建物が光を浴びることは多くありませんでした。

2021年、京都市京セラ美術館で開催された「モダン建築の京都」展は、これまでまとまって語られることの少なかった京都のモダン建築に光を当て、資料展示にとどまらない横断的な連携によって、京都のモダン建築に実際に触れる豊かな体験の機会となりました。

しかし今、多くのモダン建築が存続の危機に直面しています。公的支援に限度があるのは言うまでもなく、海外に比べて建物保存の制度が整わない日本では、さまざまな形で周りが協力しなければ建物が残りにくい状況があります。このため、現状、こうしたモダン建築の維持継承はほとんどが所有者の個人的努力と献身に拠っています。

ここまで受け継がれてきた建築が、今を生きて私たちの暮らしや文化や街並みを豊かにしてくれているという奇跡がこれからも続くことを願ってやみません。

その一助となっていきたいという願いをもって、「京都モダン建築祭」は生まれました。普段は公開されていない建築が、関わる人に支えられて、このときだけ扉を開く。それにより、京都で大切に守り継がれてきた建物や営みが“生きた文化財”として受け継がれ、時代に相応しい形で共に未来へ進んでいけるように、また、建築文化を多くの人と共に楽しみ、次の世代を担う若者や子どもたちが、こうした建築を守りたいと思ってくれるように取り組んでまいります。

#### 参加費の一部は建築の維持活用に役立てられます

京都モダン建築祭は、建築一斉公開イベントでは全国でも珍しい有料パスポート方式を導入し、2022年に初開催しました。開催期間は3日間で、参加建築数は36件。2023年は、前年の反響を受けて規模の拡大と体験の質的向上をめざし、期間・エリアともに大幅に拡大。参加建築数は76件となりました。また、理念に基づき、パスポート・ガイドツアー・特別イベント等の参加費の一部を参加建築に還元し、維持活用に役立てていただいています。

2024年は「よりわかりやすく、持続可能な祭に」を掲げ、誰でも気軽に参加できるわかりやすさと、興味・関心によって選べるプログラムの多様さ。そして今後ずっと続けていけるしくみづくりを目指しています。京都の皆さんと、そして建築祭の理念に賛同いただける全国の皆さんと、共に育てる祭として、ネットワークを深めていくべく今年の準備を進めています。

京都モダン建築祭は、京都という都市の将来とそこでの人の営みをより豊かにしていくためのひとつの試みでもあります。千年続く祭をめざして、今年的一步をどうかご一緒ください。